



2025年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年11月8日

上場会社名 株式会社一蔵 上場取引所 東
コード番号 6186 URL <https://www.ichikura.jp/>
代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 河端 義彦
問合せ先責任者（役職名） 取締役財務経理本部長（氏名） 数見 康浩（TEL） 03-5297-5151（代表）
半期報告書提出予定日 2024年11月13日 配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 有
決算説明会開催の有無 : 無

（百万円未満切捨て）

1. 2025年3月期第2四半期（中間期）の連結業績（2024年4月1日～2024年9月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
2025年3月期中間期	8,820	△5.4	△887	—	△904	—	△653	—
2024年3月期中間期	9,321	7.7	△477	—	△434	—	△448	—

（注）包括利益 2025年3月期中間期 △490百万円（—％） 2024年3月期中間期 △419百万円（—％）

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期中間期	△118.48	—
2024年3月期中間期	△81.27	—

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	％	円 銭
2025年3月期中間期	20,366	3,886	19.1	704.91
2024年3月期	20,107	4,531	22.5	821.95

（参考）自己資本 2025年3月期中間期 3,886百万円 2024年3月期 4,531百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	0.00	—	28.00	28.00
2025年3月期	—	0.00			
2025年3月期（予想）			—	14.00	14.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 2025年3月期の連結業績予想（2024年4月1日～2025年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	円 銭
通期	20,200	△1.1	123	△53.5	126	△61.8	10	△98.4

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 無
- (2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
 - ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2025年3月期中間期	5,516,335株	2024年3月期	5,516,335株
② 期末自己株式数	2025年3月期中間期	2,678株	2024年3月期	2,678株
③ 期中平均株式数（中間期）	2025年3月期中間期	5,513,657株	2024年3月期中間期	5,513,657株

※ 第2四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（四半期決算補足説明資料の入手方法）

2024年11月13日に当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間連結貸借対照表	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	6
中間連結損益計算書	6
中間連結包括利益計算書	7
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当中間連結会計期間(2024年4月1日から2024年9月30日まで)におけるわが国経済は、社会活動の正常化による個人消費の回復や堅調なインバウンド需要などを背景に、景気は緩やかな回復基調で推移いたしました。一方で長期化するウクライナ情勢や中東情勢などの地政学リスクの高まりによる原材料価格の高騰、物価上昇がもたらす消費者マインドの変化等、先行き不透明な状況が続いております。

このような状況の中、当社グループにおきましては、「日本文化をもっと身近にする」、「私たちのおもてなしを世界に広げる」、「世の中を楽しく変えていく」の経営理念のもと、顧客の拡大に取り組み、安定した収益の確保に努めてまいりました。

(和装事業)

和装事業におきましては、「きもの着方教室いち瑠」が2024年4月14日にホテルニューオータニ東京にて、「きものファッションショーに出演したモデルの最多人数」の世界記録に挑戦。1,141人が出演するなど、日本文化であるきものを未来に繋ぐべく、きものを着る機会の創出に取り組んでまいりました。

当中間連結会計期間では、受注獲得に向けて催事開催の強化等を行った結果、受注は前中間連結会計期間を上回る実績となりました。しかしながら、顧客への納品の関係もあり、売上高は6,856,479千円(前中間連結会計期間比2.1%減)となりました。受注獲得に向けた広告宣伝の強化などにより、セグメント損失は151,589千円となりました。

なお、当中間連結会計期間末の受注残高は、5,785,835千円(前中間連結会計期間末比5.2%増)となっております。

(ウェディング事業)

ウェディング事業におきましては、国内では1組あたりの施行単価は回復傾向で推移したものの、受注組数の減少に起因した施行組数の減少により、売上高は前中間連結会計期間を下回る実績となりました。中国では施行組数は減少したものの為替の影響により、売上高は前中間連結会計期間を上回る実績となりました。この結果、当中間連結会計期間の売上高は1,964,031千円(前中間連結会計期間比15.2%減)となりました。受注獲得に向けた広告宣伝の強化などにより、セグメント損失は338,271千円となりました。

なお、当中間連結会計期間末の受注残組数は、1,057組(前中間連結会計期間末比14.2%減)となっております。

(全社)

上記の結果、当中間連結会計期間の業績は、売上高8,820,511千円(前中間連結会計期間比5.4%減)、営業損失887,696千円、経常損失904,568千円、親会社株主に帰属する中間純損失653,259千円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

当中間連結会計期間の総資産は20,366,142千円(前連結会計年度比1.3%増)となりました。

流動資産の残高は10,238,900千円(前連結会計年度比2.9%減)となりました。これは主に仕掛品が90,954千円、その他が147,263千円増加した一方で、現金及び預金が304,488千円、売掛金が243,646千円減少したことによります。

固定資産の残高は10,127,242千円(前連結会計年度比5.9%増)となりました。これは主に建設仮勘定が47,480千円、投資有価証券が94,516千円、敷金及び保証金が46,238千円、繰延税金資産が281,767千円増加したことによります。

負債につきましては16,479,520千円(前連結会計年度比5.8%増)となりました。

流動負債の残高は13,469,102千円(前連結会計年度比9.3%増)となりました。これは主に買掛金が143,193千円、未払金が70,027千円、未払費用が73,351千円減少した一方で、短期借入金が670,000千円、前受金が858,803千円増加したことによります。

固定負債の残高は3,010,417千円(前連結会計年度比7.4%減)となりました。これは主に長期借入金が247,066千円減少したことによります。

純資産につきましては3,886,622千円(前連結会計年度比14.2%減)となりました。これは主に親会社株主に帰属する中間純損失653,259千円を計上したこと、配当金154,382千円を支払ったことによります。

② キャッシュ・フローの状況

当中間連結会計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)の残高は994,382千円となりました。

当中間連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果減少した資金は88,872千円となりました。これは主に税金等調整前中間純損失909,761千円、仕入債務の減少157,353千円があった一方で、減価償却費254,136千円、前受金の増加832,501千円があったことによります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は634,386千円となりました。これは主に定期預金の払戻による収入341,771千円があった一方で、定期預金の預入による支出404,870千円、固定資産の取得による支出427,764千円、投資有価証券の取得による支出100,000千円があったことによります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果増加した資金は265,871千円となりました。これは主に短期借入金の増加額670,000千円、長期借入れによる収入100,000千円があった一方で、長期借入金の返済による支出338,720千円、配当金の支払額154,190千円があったことによります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当中間連結会計期間における業績動向を踏まえ、2024年5月13日の「2024年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」で公表いたしました、2025年3月期の通期連結業績予想及び期末配当予想を修正しております。

詳細につきましては、本日公表の「業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当中間連結会計期間 (2024年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,786,435	4,481,947
売掛金	1,078,081	834,435
有価証券	200,000	200,000
商品	2,048,006	2,054,989
レンタル商品	1,309,636	1,315,339
仕掛品	525,641	616,596
原材料及び貯蔵品	115,723	104,249
その他	484,079	631,342
流動資産合計	10,547,605	10,238,900
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	5,305,439	5,343,778
土地	1,320,750	1,320,750
建設仮勘定	670,490	717,970
その他(純額)	209,338	255,144
有形固定資産合計	7,506,018	7,637,643
無形固定資産		
ソフトウェア	78,865	100,957
その他	84,462	77,657
無形固定資産合計	163,328	178,615
投資その他の資産		
投資有価証券	53,076	147,592
出資金	30	20
繰延税金資産	563,785	845,553
敷金及び保証金	1,260,113	1,306,352
その他	13,764	11,465
投資その他の資産合計	1,890,769	2,310,982
固定資産合計	9,560,116	10,127,242
資産合計	20,107,721	20,366,142

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当中間連結会計期間 (2024年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	906,112	762,918
短期借入金	3,300,000	3,970,000
1年内返済予定の長期借入金	635,786	644,132
未払金	599,969	529,942
未払費用	392,144	318,793
未払法人税等	44,694	23,074
前受金	6,225,615	7,084,419
預り金	64,090	68,685
賞与引当金	1,290	1,131
その他	154,544	66,006
流動負債合計	12,324,248	13,469,102
固定負債		
長期借入金	1,772,691	1,525,625
繰延税金負債	793	1,105
退職給付に係る負債	641,264	647,342
資産除去債務	483,590	485,417
その他	353,175	350,927
固定負債合計	3,251,513	3,010,417
負債合計	15,575,762	16,479,520
純資産の部		
株主資本		
資本金	50,000	50,000
資本剰余金	1,978,533	1,978,533
利益剰余金	2,404,060	1,596,418
自己株式	△17	△17
株主資本合計	4,432,575	3,624,934
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	36,245	32,640
為替換算調整勘定	63,137	229,047
その他の包括利益累計額合計	99,383	261,688
純資産合計	4,531,959	3,886,622
負債純資産合計	20,107,721	20,366,142

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

中間連結損益計算書

(単位:千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
売上高	9,321,720	8,820,511
売上原価	3,677,445	3,379,368
売上総利益	5,644,274	5,441,142
販売費及び一般管理費	6,121,687	6,328,838
営業損失(△)	△477,412	△887,696
営業外収益		
受取利息及び配当金	5,496	5,313
受取手数料	939	776
為替差益	42,303	—
その他	6,223	7,255
営業外収益合計	54,962	13,345
営業外費用		
支払利息	10,752	16,089
為替差損	—	11,871
その他	1,604	2,257
営業外費用合計	12,357	30,218
経常損失(△)	△434,806	△904,568
特別利益		
固定資産売却益	—	867
投資有価証券売却益	10,400	—
特別利益合計	10,400	867
特別損失		
固定資産除却損	2,866	6,060
特別損失合計	2,866	6,060
税金等調整前中間純損失(△)	△427,273	△909,761
法人税、住民税及び事業税	22,066	23,074
法人税等調整額	△1,242	△279,577
法人税等合計	20,824	△256,502
中間純損失(△)	△448,098	△653,259
非支配株主に帰属する中間純利益	—	—
親会社株主に帰属する中間純損失(△)	△448,098	△653,259

中間連結包括利益計算書

(単位:千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
中間純損失(△)	△448,098	△653,259
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△3,241	△3,605
為替換算調整勘定	31,868	165,910
その他の包括利益合計	28,627	162,304
中間包括利益	△419,470	△490,954
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	△419,470	△490,954
非支配株主に係る中間包括利益	—	—

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純損失(△)	△427,273	△909,761
減価償却費	267,750	254,136
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	19,958	6,078
賞与引当金の増減額(△は減少)	—	△159
受取利息及び受取配当金	△5,496	△5,313
支払利息	10,752	16,089
為替差損益(△は益)	△42,303	11,871
投資有価証券売却損益(△は益)	△10,400	—
固定資産除却損	2,866	6,060
有形固定資産売却損益(△は益)	—	△867
売上債権の増減額(△は増加)	148,129	243,646
棚卸資産の増減額(△は増加)	△86,249	△91,425
仕入債務の増減額(△は減少)	△91,766	△157,353
未払費用の増減額(△は減少)	17,340	△73,206
未払消費税等の増減額(△は減少)	△73,642	△74,290
前受金の増減額(△は減少)	580,691	832,501
その他	60,221	△89,865
小計	370,579	△31,858
利息及び配当金の受取額	5,478	5,212
利息の支払額	△10,912	△17,767
法人税等の支払額	△44,536	△44,457
営業活動によるキャッシュ・フロー	320,608	△88,872
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△119,924	△404,870
定期預金の払戻による収入	44,400	341,771
固定資産の取得による支出	△141,364	△427,764
有形固定資産の売却による収入	—	3,013
投資有価証券の取得による支出	—	△100,000
投資有価証券の売却による収入	23,100	—
貸付金の回収による収入	2,743	1,494
その他	△27,701	△48,029
投資活動によるキャッシュ・フロー	△218,746	△634,386
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△360,000	670,000
リース債務の返済による支出	△11,218	△11,218
長期借入れによる収入	700,000	100,000
長期借入金の返済による支出	△280,638	△338,720
配当金の支払額	△115,394	△154,190
財務活動によるキャッシュ・フロー	△67,251	265,871
現金及び現金同等物に係る換算差額	47,317	89,799
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	81,928	△367,587
現金及び現金同等物の期首残高	1,254,472	1,361,969
現金及び現金同等物の中間期末残高	1,336,401	994,382

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前中間連結会計期間(自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	中間連結損益 計算書計上額 (注) 2
	和装事業	ウェディング 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	7,005,927	2,315,792	9,321,720	—	9,321,720
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	7,005,927	2,315,792	9,321,720	—	9,321,720
セグメント損失(△)	△19,808	△88,642	△108,451	△368,960	△477,412

(注) 1. セグメント損失(△)の調整額△368,960千円は本社管理費であります。

2. セグメント損失(△)は中間連結損益計算書の営業損失(△)と調整しております。

II 当中間連結会計期間(自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	中間連結損益 計算書計上額 (注) 2
	和装事業	ウェディング 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	6,856,479	1,964,031	8,820,511	—	8,820,511
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	6,856,479	1,964,031	8,820,511	—	8,820,511
セグメント損失(△)	△151,589	△338,271	△489,861	△397,835	△887,696

(注) 1. セグメント損失(△)の調整額△397,835千円は本社管理費であります。

2. セグメント損失(△)は中間連結損益計算書の営業損失(△)と調整しております。